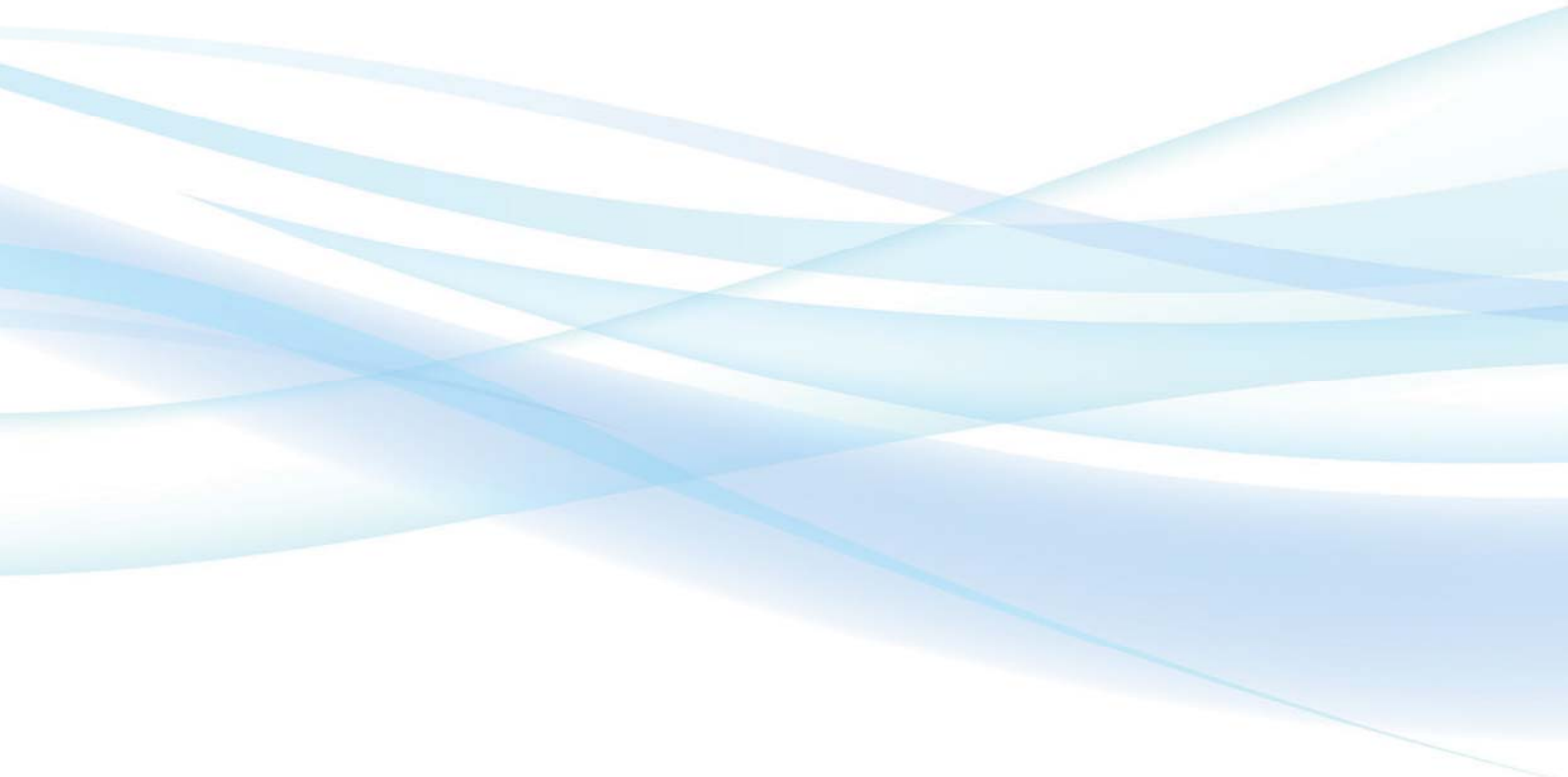


資料編



村民意識調査（抜粋）

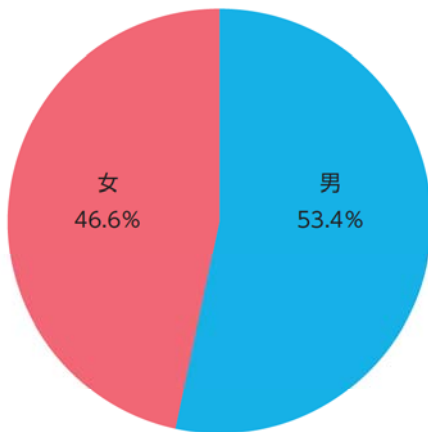
中川村第6次総合計画基本構想及び前期基本計画の策定にあたり、村民の生活実態や生活環境に関する意識、村政に対する満足度などを把握するため、平成30年（2018年）9月から10月にかけて、中川村在住の満18歳以上の村民1,000名を対象にアンケート調査を実施しました。

調査項目は、次に示すような内容で、26項目、92の設問で村民の意識、要望等を確認しました。

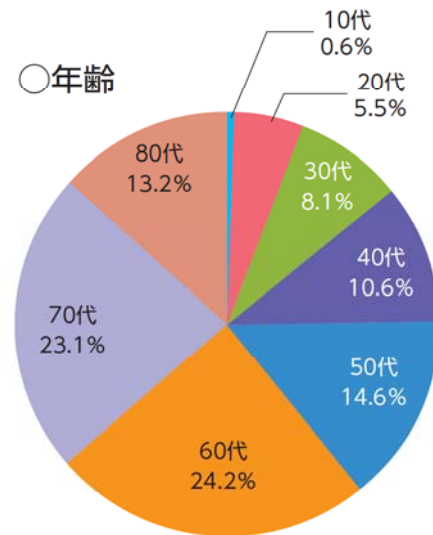
- ①回答者の属性
- ②居住に関する状況
- ③第5次総合計画の評価
- ④次期計画で力を入れるべき政策
- ⑤重点施策
- ⑥村の将来像

回答者数は477人、回収率は47.7%で、信頼度95.4%、誤差率±5%となりました。アンケートの主な項目の結果について以下に示します。

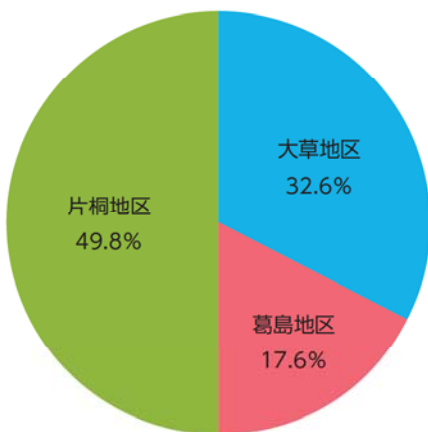
○性別



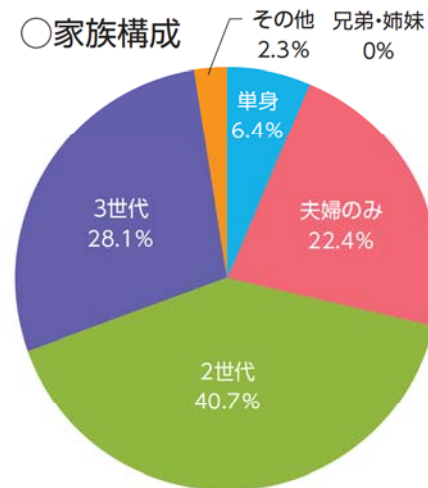
○年齢

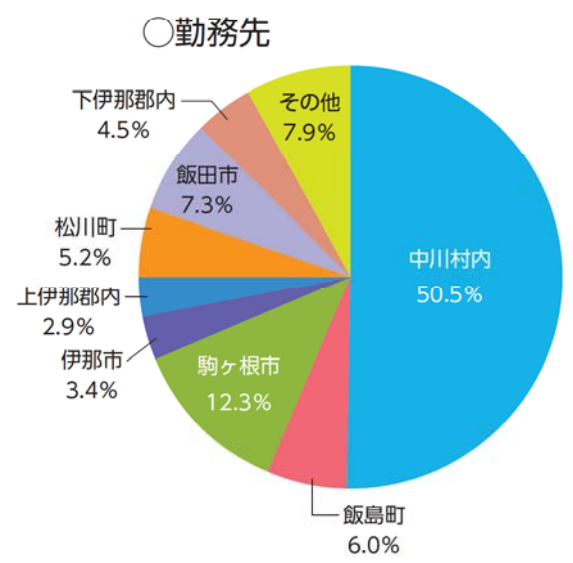
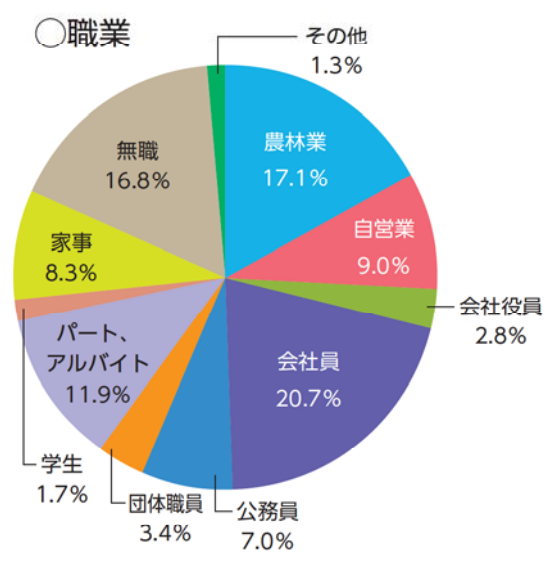
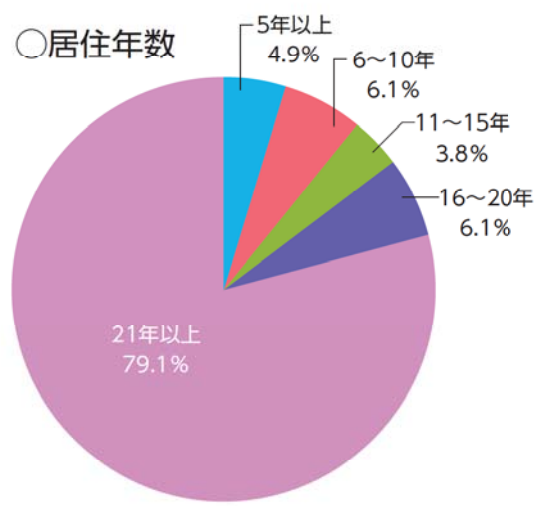


○居住地

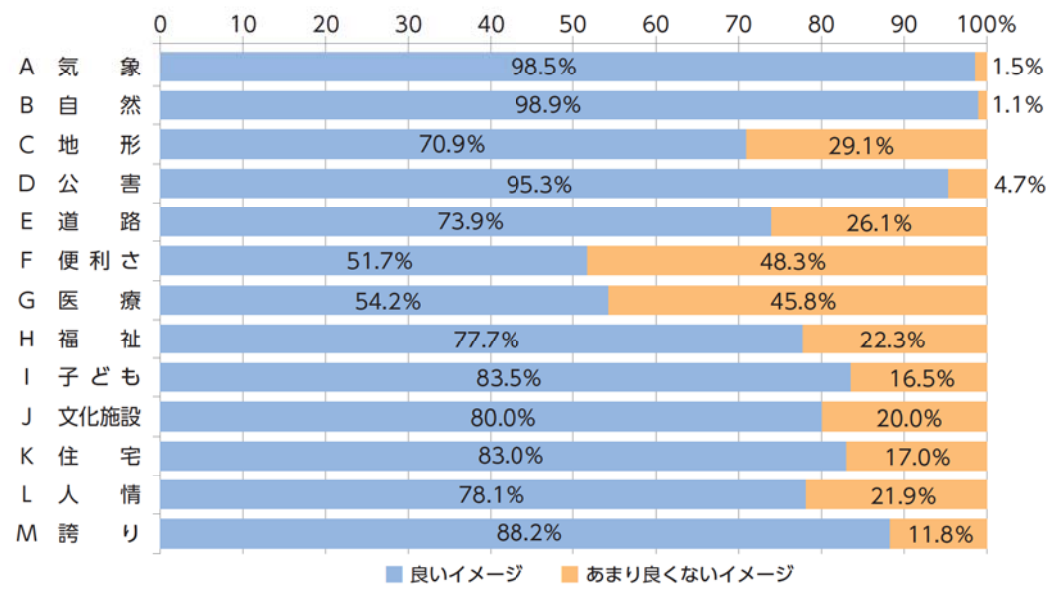


○家族構成



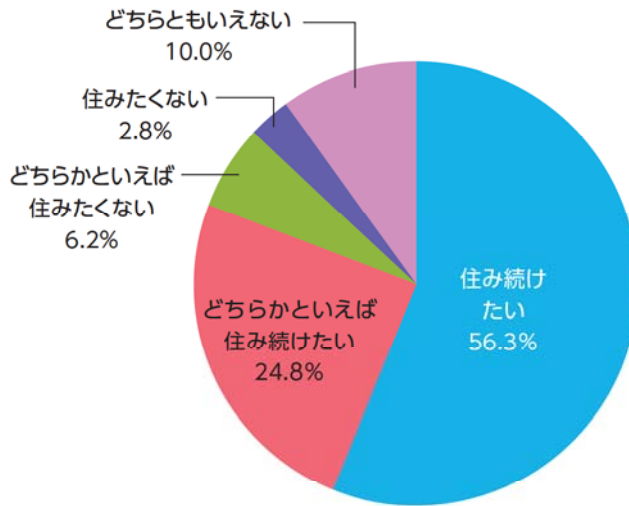


○中川村に対するイメージ

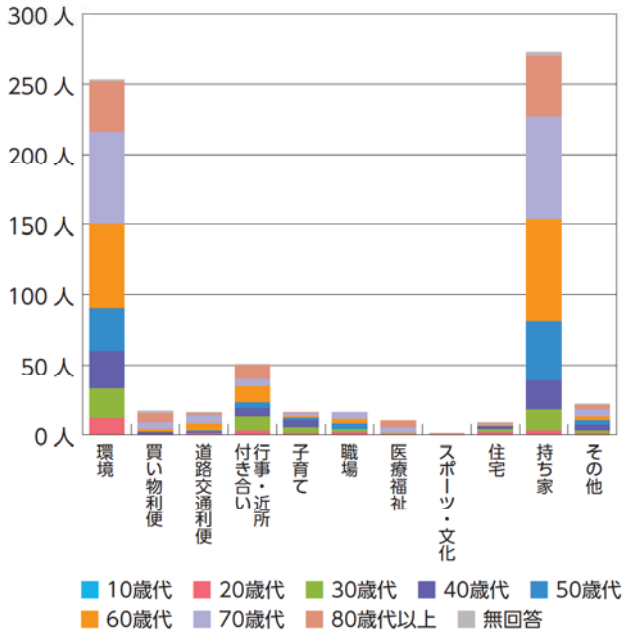


○居住継続の意向について

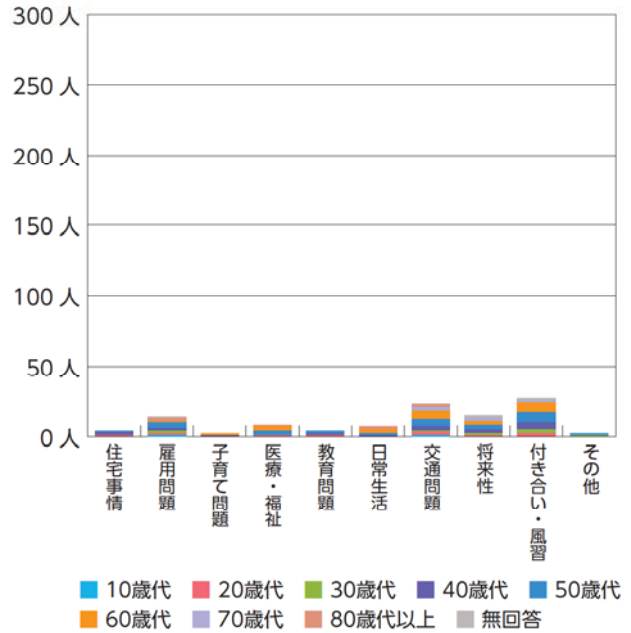
居住の意向を問う設問に対して、「住みたい」が56.3%と半数以上を占めており、次いで「どちらかといえば住みたい」の24.8%となりました。今後、中川村に住みたい人の割合は81.1%となっています。一方、「住みたくない」「どちらかといえば住みたくない」と回答した人の割合は併せて9.0%となりました。



居住の継続に肯定的な理由

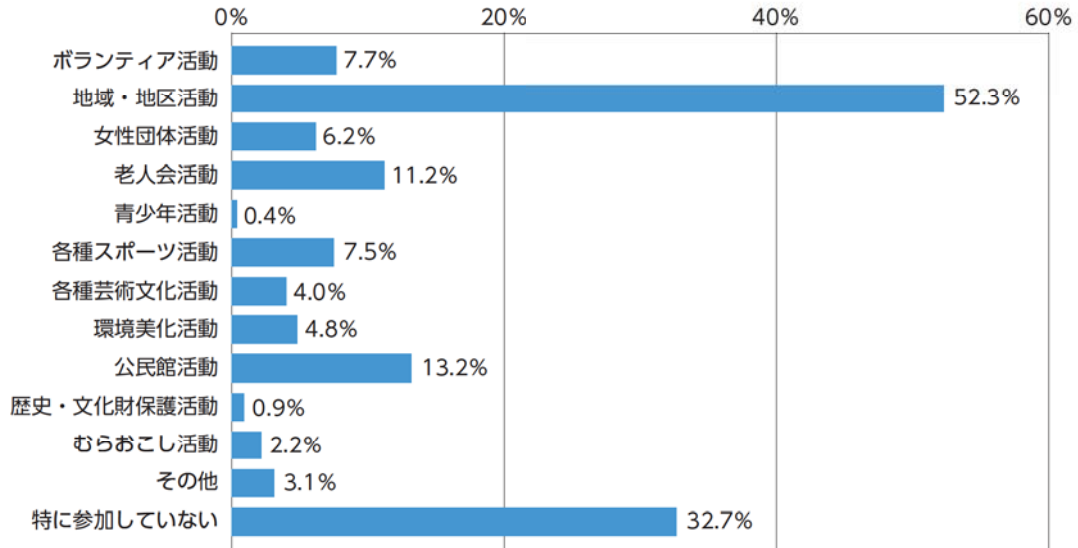


居住の継続に否定的な理由



○地域活動への参加状況

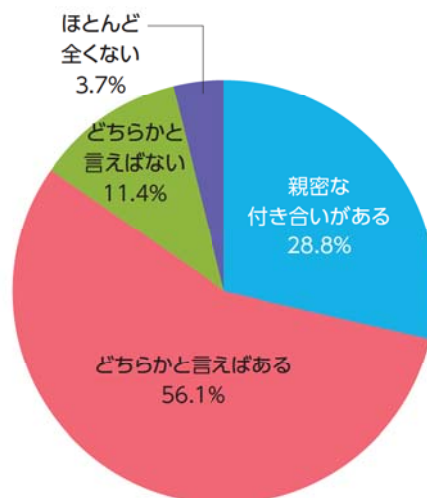
地域活動の参加については「地域・地区活動」52.3%が最も多く、次いで「公民館活動」が13.2%、「老人会活動」が11.2%となっています。また、「特に参加していない」は32.7%となっています。



○近所付き合いの状況

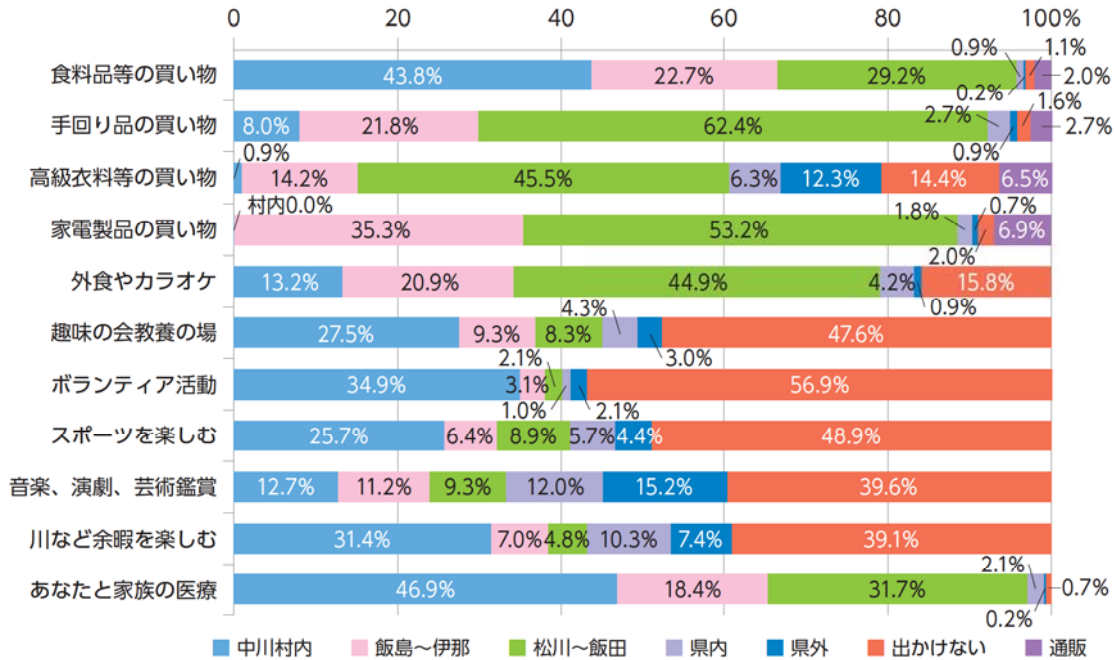
隣近所との付き合い程度は、「どちらかといえば付き合いがある」が56.1%と半数以上を占めています。「親密な付き合いがある」28.8%を合計すると、84.9%が何らかの近所付き合いがあると回答しています。

反対に「ほとんど（全く）付き合いがない」は3.7%となっています。



○日常生活の活動範囲・場所

主な行動場所が中川村内との回答が多いものは「食料品や日用雑貨等の買い物」「あなたと家族の医療」であり、40%以上を占めています。食料品や日用雑貨等以外の買い物、及び、「外食やカラオケ等を楽しむ」については松川～飯田の範囲で行っている人が多くを占めています。

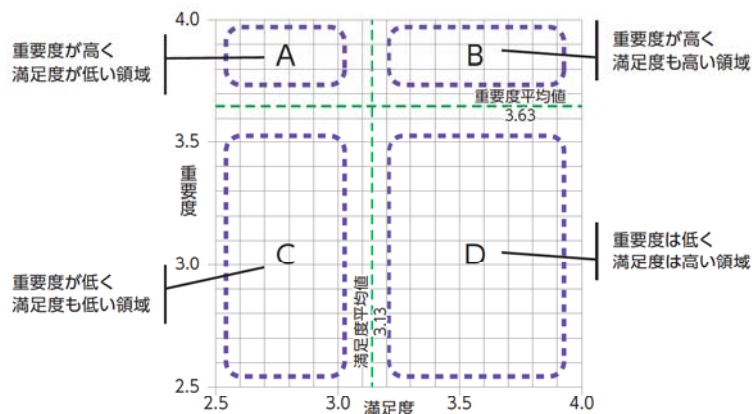


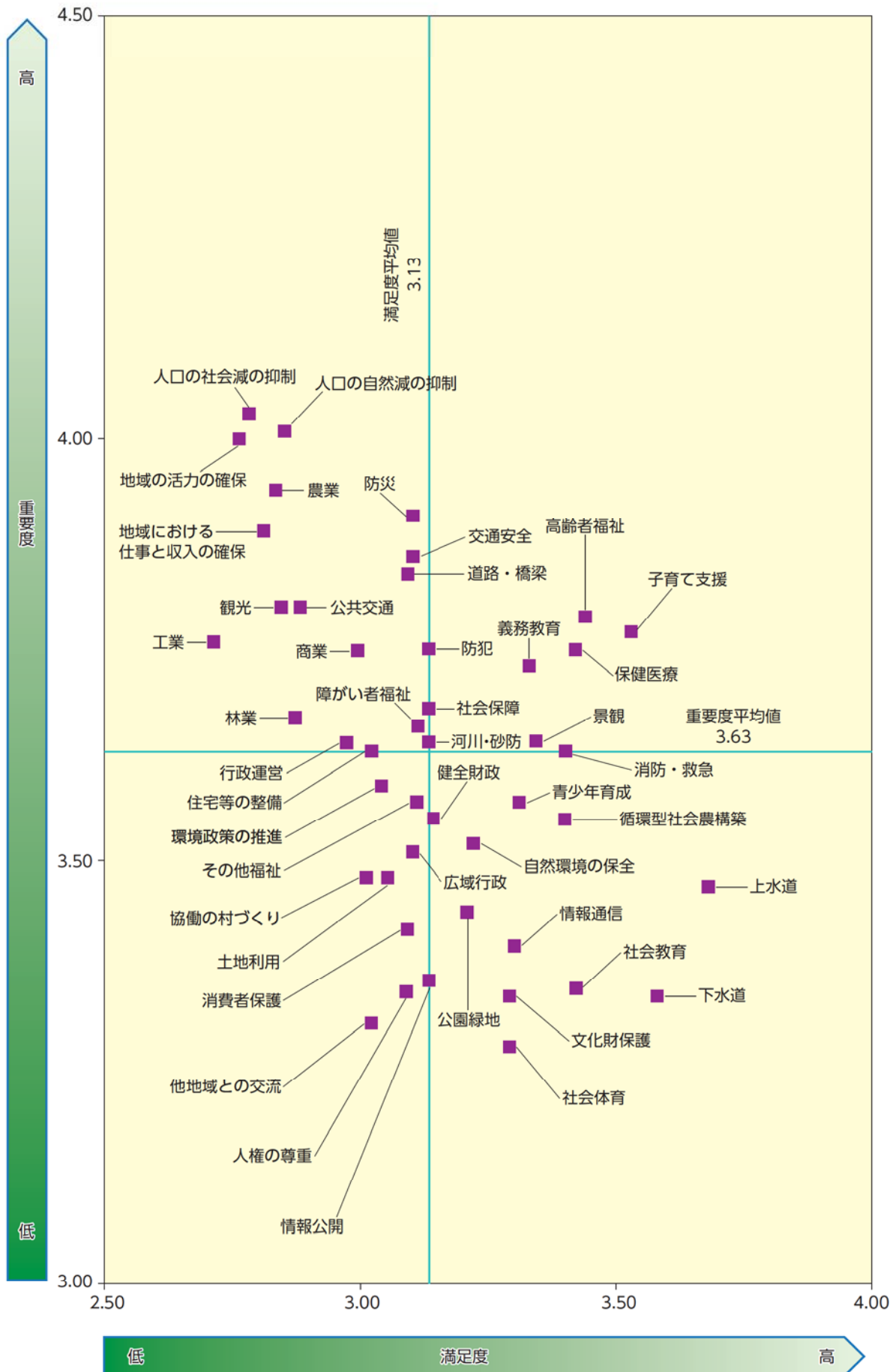
○政策における満足度および今後の重要度

第5次基本計画における9分類（9章）についての41項目に、地方創生についての1分類4項目を加えた計45項目を対象に、満足度と重要度について設問し、満足度と重要度の相関関係の集計を行いました。

相関関係は、満足度の「満足している」から「不満である」まで、重要度の「特に力を入れてほしい」から「力を入れる必要はない」までの回答順に5～1のポイントを付け、それに回答数を乗算した数値の平均を算出し、満足度をX軸、重要度をY軸としたグラフに表しています。なお、満足度・重要度の平均値は、45項目全ての平均値としました。

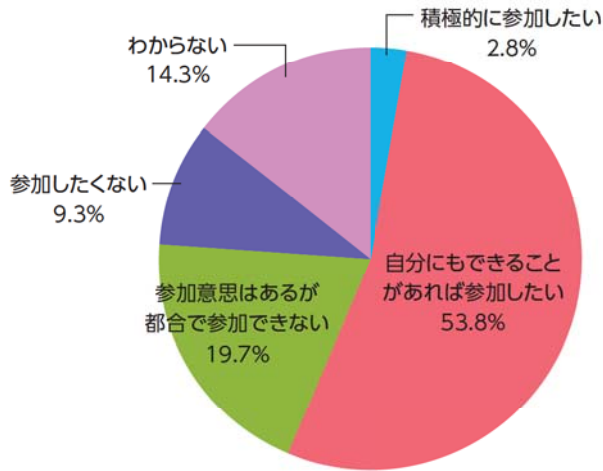
相関の散布図の見方は下記のとおりです。





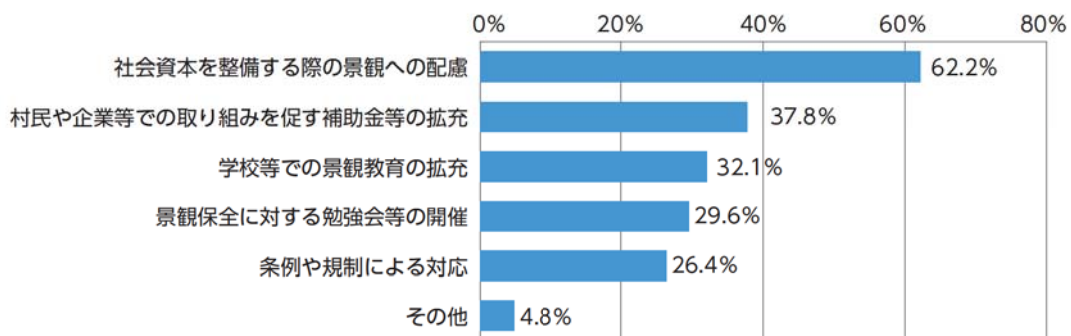
○協働のむらづくりへの参加意欲

協働のむらづくりについては、「自分にもできることがあれば参加したい」が53.8%と半数を超え、次いで、「参加意思はあるが仕事などの都合で参加できない」が19.7%となっています。協働についての村民の意欲がうかがえます。



○景観対策に必要なこと

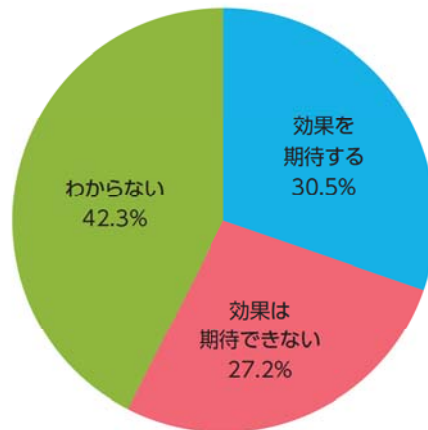
景観保全のための対策は、「公共施設や道路等の社会資本を整備する際の景観への配慮」が62.2%と最も多く、次いで「村民や企業等での取り組みを促す補助金等の拡充」が37.8%となっています。それ以外の回答についても25%を超えています。



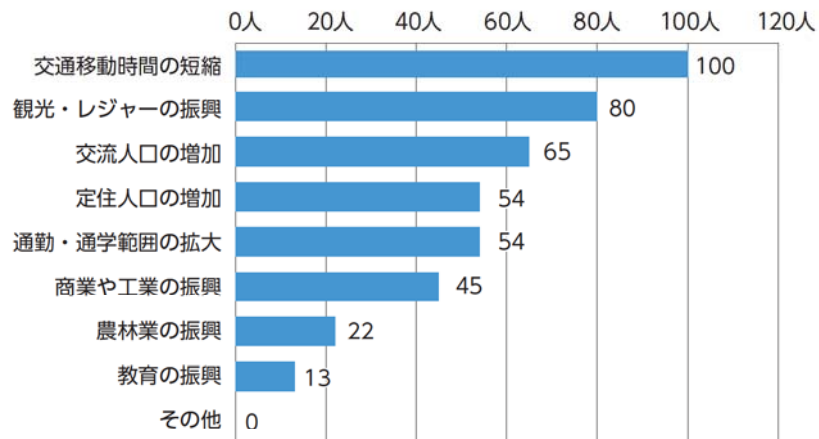
○リニア中央新幹線開通に向けた期待・期待される効果

リニア中央新幹線開業への期待は、「効果を期待する」が30.5%、「効果は期待できない」が27.2%で、効果を期待する人と期待できない人が概ね同数となりました。

効果を期待する理由としては、都市との時間距離が縮まり、多くの人や物の動きが活発になることへの期待やそれに伴う経済の発展、活性化等が挙げられました。

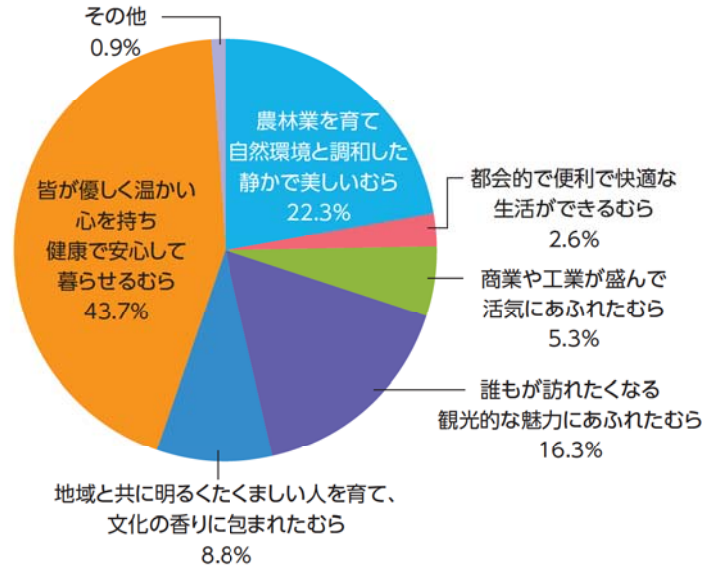


期待される効果としては、交通移動時間の短縮が最も多く、次いで観光・レジャーの振興、交流人口の増加となりました。



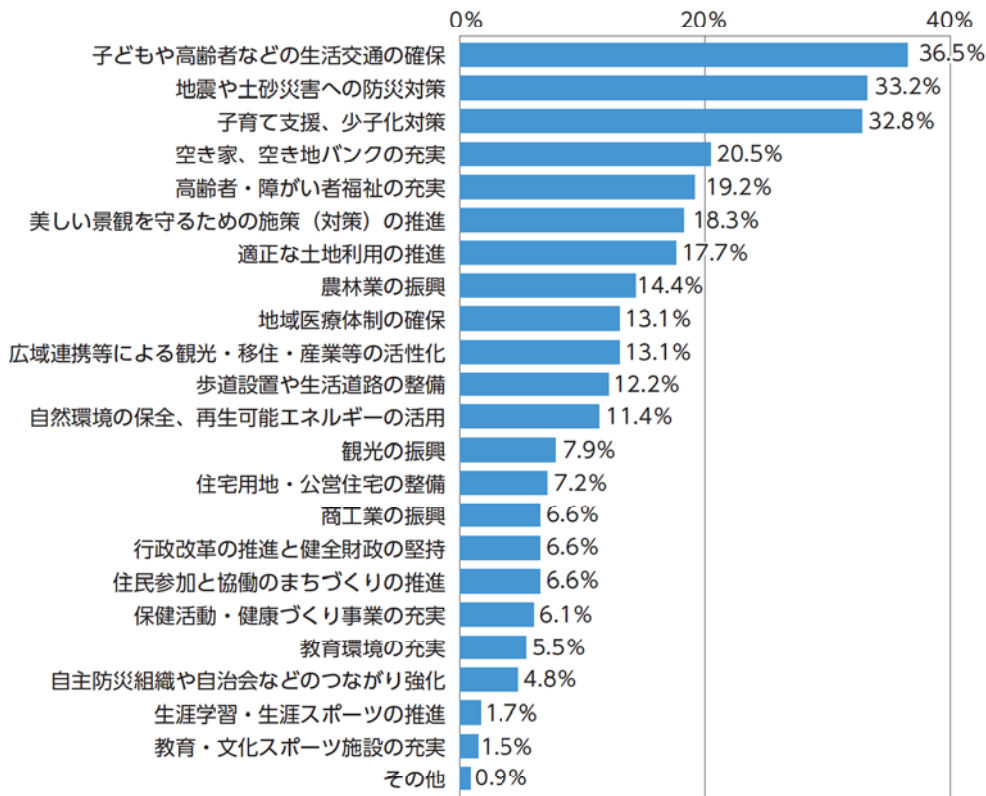
○将来の中川村に最もふさわしいイメージ

村の将来イメージは、「皆が優しく温かい心を持ち、健康で安心して暮らせるむら」が43.7%と最も多く、次いで「農林業を育て、自然環境と調和した静かで美しいむら」が22.3%となっています。



○持続可能な村とするため力を入れるべき分野

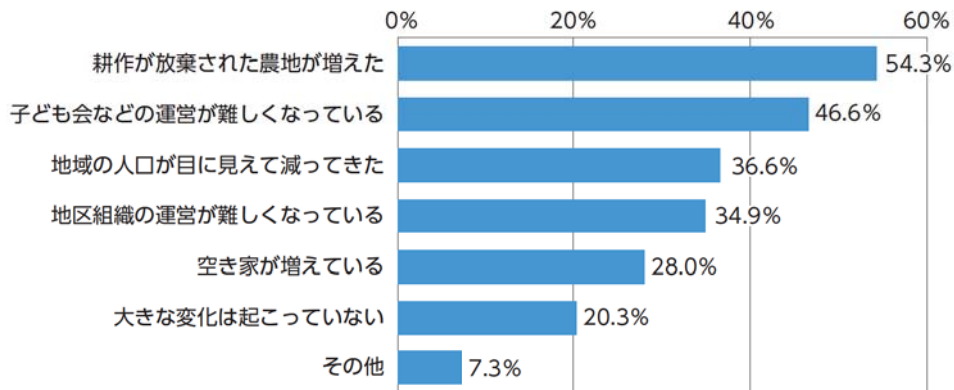
持続可能な村とするため優先すべき分野として、30%以上の回答者が「子どもや高齢者などの生活交通の確保」「地震や土砂災害への防災対策」「子育て支援、少子化対策」を選択しています。



○人口減少の実情

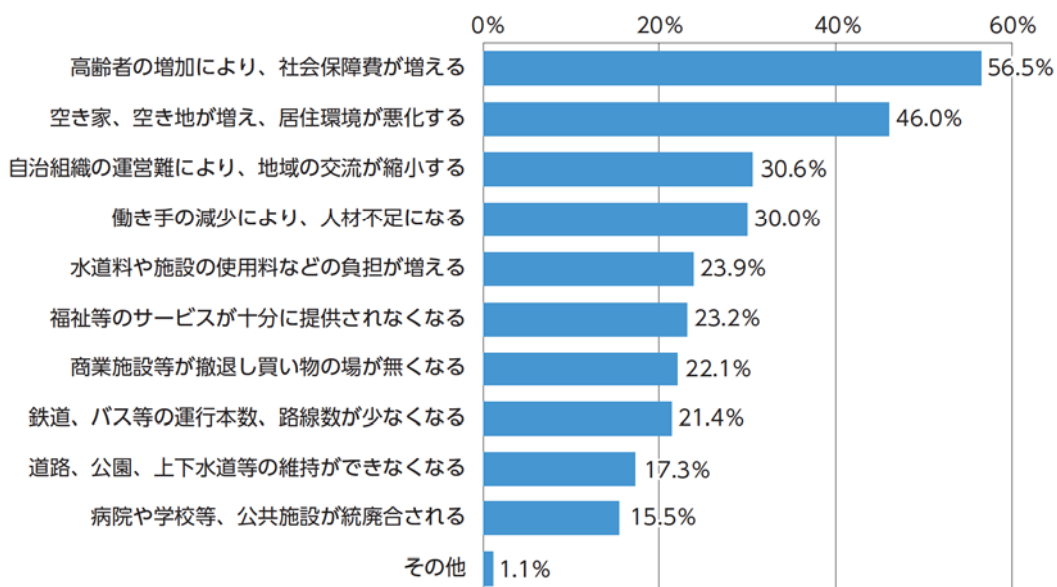
回答者がお住まいの近くで感じている人口減少とその影響の実情について、54.3%が「耕作が放棄された土地が増えた」と回答しています。次いで「小中学校の児童や生徒が減少し、子供会などの運営が難しくなっている」が46.6%でした。

「大きな変化は起こっていない」とした回答者は20.3%にとどまり、何らかの影響が生じていることが伺えます。



○人口減少・高齢化の影響

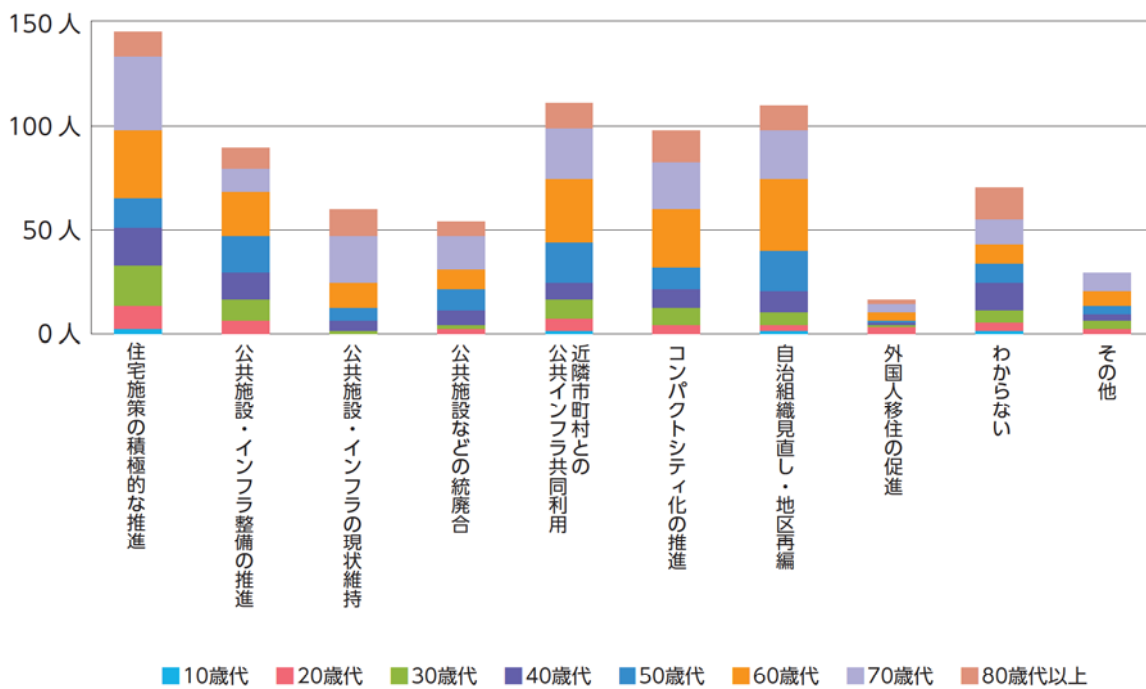
人口減少により予想される影響について、自分の生活に関係するものとして56.5%の回答者が「高齢者の増加により、医療費等の社会保障費が増える」と回答しました。次いで、「空き家・空き地・耕作放棄地が増え、居住環境が悪化する」が46.0%となっています。



○人口減少社会において進めるべき施策

人口減少社会において進めていくべき施策について、32.7%の回答者が「村営住宅建設、宅地開発、空き家活用など、住宅施策を積極的に進める」と回答しました。次いで、「自治組織活動を維持・継続するため、組織の見直しや地区の再編を行う」「近隣市町村との連携により、公共施設、上下水道、公共交通など公共インフラの共同利用を進める」がそれぞれ25.3%、24.8%となっています。

その他の意見としては、若者が村に残る施策の実施や、子育て世代への支援の拡充、移住者の受け入れ強化、上伊那の市町村と連携した取り組みなどの意見が出されています。



諮問書

2019中総第80号
令和元年(2019年)6月3日

中川村総合計画審議会
会長 久保益美 様

中川村長 宮下健彦

第6次中川村総合計画の策定について(諮問)

村の村政運営の指針となる第6次総合計画を策定したいので、中川村総合計画審議会条例(昭和46年条例第17号)第2条の規定により、中川村総合計画審議会の意見を求めます。

答申書

令和2年2月17日

中川村長 宮下健彦 様

中川村総合計画審議会
会長 松澤文昭

中川村第6次総合計画の策定について(答申)

令和元年6月3日付2019中総第80号で諮問のありました中川村第6次総合計画の基本構想及び前期基本計画について、別冊のとおり答申します。

議案「中川村基本構想の策定について」

議案第 23 号

中川村基本構想の策定について

中川村基本構想（令和 2 年度から令和 11 年度まで）を別紙のように定める。

令和 2 年 3 月 2 日提出

中 川 村 長 宮下健彦

令和 2 年 3 月 2 日可決

中川村議会議長 山崎啓造

（提案理由）

中川村議会の議決すべき事件に関する条例第 2 条の規定により、本案を提出する。

策定の経緯

事 項	実 施 時 期	備 考
第1回総合計画策定委員会兼 総合計画策定推進委員合同会議	平成30年8月20日	第6次総合計画策定手順等について
中川村議会全員協議会	平成30年8月24日	第6次総合計画の策定について
第1回総合計画審議会	平成30年9月14日	委嘱、趣旨説明、住民意向の把握について
住民意向調査 (アンケート)	平成30年9月～ 平成30年10月	18歳以上1,000人 (回答者数：477人)
第2回総合計画策定委員会	平成30年10月31日	住民意向調査、第5次総合計画後期 基本計画の事後評価について
第5次総合計画後期基本計画 事後評価ヒアリング	平成30年11月	
第3回総合計画策定委員会	平成30年11月9日	ワークショップの実施について
むらづくりワークショップ①	平成30年11月21日	参加者数：20人
むらづくりワークショップ②	平成30年12月6日	参加者数：22人
第4回総合計画策定委員会	平成31年1月16日	第6次総合計画の体系について
第2回総合計画審議会	令和元年6月3日	諮問、基本構想(案)について
第5回総合計画策定委員会兼 総合計画策定推進委員合同会議	令和元年6月19日	前期基本計画策定作業について
住民意向調査 (Web アンケート)	令和元年6月25日～ 令和元年7月15日	回答者数：320人
むらづくりワークショップ③	令和元年7月5日	参加者数：22人
むらづくりワークショップ④	令和元年7月10日	参加者数：24人
第3回総合計画審議会	令和元年12月2日	前期基本計画(案)について
第4回総合計画審議会	令和元年12月9日	前期基本計画(案)について
中川村議会全員協議会	令和元年12月11日	基本構想(案)について
第6回総合計画策定委員会	令和元年12月16日	第6次総合計画(案)について
パブリックコメント	令和元年12月25日～ 令和2年1月10日	意見なし
第7回総合計画策定委員会	令和2年1月15日	答申、第6次総合計画(案)について
第5回総合計画審議会	令和2年2月4日	第6次総合計画(案)について
第6回総合計画審議会	令和2年2月17日	第6次総合計画(案)について、答申
中川村議会全員協議会	令和2年2月19日	第6次総合計画(案)について
中川村議会3月定例会	令和2年3月2日	基本構想議決

中川村第6次総合計画審議会委員名簿

	氏名	職名	備考
	山崎 啓造	村議会の議員	議会議長
	中塚礼次郎	村議会の議員	議会副議長
会長（令和元年12月から）	松澤 文昭	村議会の議員	議会総務経済委員長
	柳生 仁	村議会の議員	議会厚生文教委員長
	米山清比古	村農業委員会の委員	農業委員会会長
会長（令和元年11月まで）	久保 益美	村教育委員会の委員	教育長職務代理 （令和元年9月まで）
	下平 裕司	村教育委員会の委員	教育長職務代理 （令和元年10月から）
	宮木 由博	村の公共的団体の役員 及び職員	民生児童委員協議会会長 （令和元年11月まで）
	西永 愛子	村の公共的団体の役員 及び職員	民生児童委員協議会副会長 （令和元年11月まで） 民生児童委員協議会会長 （令和元年12月から）
	桃澤 文明	村の公共的団体の役員 及び職員	民生児童委員協議会副会長 （令和元年12月から）
	桃沢 傳	村の公共的団体の役員 及び職員	商工会長
	北澤 民子	村の公共的団体の役員 及び職員	商工会女性部長
副会長	宮崎美和子	村の公共的団体の役員 及び職員	J A 上伊那理事
	佐々木紀綱	学識経験者	小平地区活性化委員会委員
	長尾 和則	学識経験者	公募委員（平成31年4月から）

中川村第6次総合計画

基本構想 令和2年度(2020年度)～令和11年度(2029年度)

前期基本計画 令和2年度(2020年度)～令和6年度(2024年度)

発行日/令和2年(2020年)3月

発行/中川村

長野県上伊那郡中川村大草4045-1

電話 0265-88-3001 (代表)

編集/中川村役場 総務課



the most beautiful
villages in japan

中川村
長野県